

Press Release

「資生堂 Hand in Hand Project」を通じた寄付で医療活動を支援



資生堂は、全国の医療従事者の方々に敬意と感謝の意を伝えることを目的に実施した「資生堂 Hand in Hand Project」を通じて、2021年7月26日に総額503,771,457円を公益社団法人 日本看護協会に寄付しました。この寄付金は、全国の医療現場へ支援物品を提供いただくなど医療活動の支援に役立てられます。本プロジェクトは正しい手指の消毒による感染予防と、手洗いや消毒による手荒れを防ぐハンドケアを実施する「手守り習慣」を呼びかけ、2021年2月から5か月間の期間中、当社が販売する対象商品のハンドソープ・消毒液・ハンドクリームの利益^{※1}などを医療現場のサポートのために寄付する取り組みです。対象商品をご購入いただいたお客さまやご賛同いただいた1600社を超える取引先企業と当社が、「医療従事者の力になりたい」と心を一つにして感染予防に取り組みました。

※1 2021年2月1日～6月30日の対象商品の売上から、売上に連動して発生するコストを除いたもの。また本プロジェクトの浸透のための活動コストは、別途当社が負担しています。

公益社団法人 日本看護協会への寄付内容

【寄付金】

寄付金総額 503,771,457 円

(寄付金の内訳)

・対象商品の利益 ^{※1}	494,392,207 円
・オンライン賛同アクション ^{※2}	8,679,250 円
・プロモーション出演者からの寄付 ^{※3}	700,000 円

【寄付商品】

「資生堂 ハンドクリーム N」^{※4} 30,000 個

※2 本プロジェクトに対するオンライン上での賛同アクション1件あたり10円で計算したもの

※3 本プロジェクトにご賛同くださったプロモーション出演者より、出演料を当社からの寄付金としてお預かりしたもの

※4 2021年4月に寄付

公益社団法人 日本看護協会 福井 トシ子会長コメント

このたびは、「資生堂 Hand in Hand Project」を通じて、多額のご寄付と寄付物品をいただきましたこと心より感謝申し上げます。看護職の現場支援に最大限活用してまいりますことをご報告申し上げます。新型コロナウイルス感染症患者の対応に必要な防護具を着用すると、全身が汗だくになります。そこで、寄付金は、個人防護具の下に着用する冷却ベストや、経口補水液などの購入に充て、都道府県看護協会を通じて看護・医療現場へ提供させていただきます。また、看護職は数えきれないほどの手洗いを行います。いただいたハンドクリームは、さっそく現場の看護職へ提供させていただきました。すでに現場の看護職から喜びの声が届いております。誠にありがとうございました。

代表取締役 社長 兼 CEO 魚谷 雅彦コメント

新型コロナウイルス感染症に罹患されている方々や、困難な状況におられる皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の対応に最前線でご尽力されている医療従事者の皆さまに心より感謝申し上げます。本プロジェクトは「医療従事者の皆さまへの感謝を形にできないか」という思いからスタートし、ご賛同いただいた多くのお客さまや取引先企業とともに感染予防に取り組むことで、医療活動への支援という形に繋げることが出来ました。私たちは、「美」の力は人を勇気づけ明日の希望となると考えています。この厳しい環境を乗り越えるべく、皆さまとともにこれからも取り組んでまいります。

【ご参考】

「資生堂 Hand in Hand Project」について

プロジェクト実施期間:2021年2月1日～2021年6月30日

特設 Web サイトに医療従事者への感謝のメッセージなどを掲載(<https://www.shiseido.co.jp/handinhand/>)

※2021年8月31日まで

ニュースリリースはこちら(<https://corp.shiseido.com/jp/news/detail.html?n=0000000003070>)